

2024年度事業計画書

トマト加工品の市場は、トマトジュースをはじめとして全体的に堅調である。しかしながら、トマト加工品の主原料であるトマトペーストをはじめとする原材料の価格高騰、包装資材やエネルギー費などのコスト上昇は続いている。さらには国内加工用トマトの生産においても異常気象による作柄不良などの問題を抱えている。

全国トマト工業会は、これら問題に迅速且つ的確に対応するとともに、国内産原料生トマトの確保、業界の発展を期するための活動を図っていく。

1. 輸入自由化対策事業（加工用トマト生産安定対策事業）

（1）加工用トマト需給促進事業

加工用トマトの生産者等に対し、加工用トマトの生産コストの低減、労働力の軽減、さらに単収アップなどに繋げるための技術セミナー（優良生産者の表彰を含む）等の開催に掛かる費用について助成する。また、加工用トマトの需給促進に繋がる活動を行う。

（2）加工用トマト産地育成事業（メーカー別、県別助成事業）

加工用トマトの産地及び生産農家の維持・拡大を推進するため、以下の事業について、農協加工用トマト部会、生産法人、民間機関等に対し助成する。

- ① 新規参入者の拡大及び育成
- ② 労働力確保の仕組みづくり
- ③ 各種機械・設備等導入の推進

（3）県協議会産地指導等経費

県協議会が行う産地指導等について要する経費の一部について、予算の範囲内において交付する。

（4）トマトピューレー及びトマトペーストの関税割当について 引き続き本年度も関税割当に対応する。

（5）加工用トマトの海外調査の実施。

2. 情報提供等事業

会員に向けては、Eメールやホームページを通じて関係情報の提供を迅速に行い、業界の円滑な運営及び啓発普及の推進を図る。

一般消費者に向けては、テレビ・新聞等の媒体に対し積極的に情報提供を行うとともに、WEB媒体・SNSの活用による情報発信も加えて、加工用トマト・トマト加工品の一層の普及啓蒙を推進する。

3. 消費対策事業

- (1) 「食育」をメインテーマとし、6月1日～2日に開催される「第19回食育推進全国大会 in おおさか（大阪市）」に出展し、加工用トマト・トマト加工品に関わる正しい情報を、若年層を中心とする消費者に対し発信する。
- (2) 消費者団体等と連携して積極的に勉強会等を開催する。

4. 技術対策事業

- (1) 「みどりの食料システム戦略」に基づく、食品ロス削減等に関して、関係機関と連携して対応する。
- (2) 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」等の環境問題について関係機関と連携して対応する。
- (3) 食品表示基準に基づく適切な表示に対し、情報提供を行う。
- (4) グローバル化に対応した食品表示ルールの見直しについて対応する。
- (5) トマト加工品等の国際規格について対応する。
- (6) 加工食品の輸出促進等について、関係機関と連携して対応する。
- (7) HACCPに沿った衛生管理を含む食品衛生法等に関わる諸問題について、関係機関と連携して対応する。

5. 原材料対策事業

- (1) WPTC（世界加工トマト評議会）において、国際的共通問題について対応する。
- (2) TPP、EPA問題等について関係機関と連携して対応する。
- (3) 国内外の原材料情報の提供を行う。

6. その他

- (1) 空缶等食品の散乱防止対策及び容器包装リサイクル問題等について、公益社団法人食品容器環境美化協会を通じて対応する。
- (2) 関係業界と連携し、様々な情報交換を行う。
- (3) その他必要に応じ各種事業を行う。

以上